

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	重粒子線治療における照射部位に即した microdosimetric kinetic model の改変
	研究目的	現在、重粒子線治療における線量処方では、HSG (human salivary gland tumor, ヒト唾液腺腫瘍) 細胞の重粒子線に対する生存率をもとに生物線量を導出している。つまり、実際に照射されている腫瘍や正常組織は HSG 細胞のみでないにも関わらず、全身を HSG 細胞であると仮定して生物線量が算出されているということである。また、RBE 値は細胞の種類によっても変化することが分かっている。そのため、現行の HSG 細胞のみの RBE 値を元にした生物線量の算出では、照射領域における生物線量の見積りに大きな線量不確かさが存在すると考えられる。本研究では、生物線量の計算に用いられる MKM (microdosimetric kinetic model) というモデルのパラメータを、HSG 細胞のパラメータから照射部位に即したものに変更することで、生物線量の不確かさを軽減を目的とする。
	研究対象者	2015 年 12 月～2020 年 12 月に当センターにて重粒子線治療を受けた患者さん
	研究期間	西暦 2021 年 3 月 15 日～西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (治療計画データ及び <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録            治療計画用 CT データ)	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	菅 満喜人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	医療技術部 放射線治療技術科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし